

案) 高齢者の力を子育てに活用する施策を検討できないか

犬山市の人口構造は、愛知県のお市町村に比して、高齢者が多く子どもが少ない。高齢者が多いことは、とかくマイナス面が強調される傾向にありますが、逆に高齢者だから持っている力、経験、ワザを活用する方法があれば、高齢者が多いことをメリットに転換することもできると思うのです。

例えば高齢者の多くが子育ての経験者であることを忘れてはいませんか。その力を活かして子育て支援につなげる施策が考えられれば、お市町村以上に戦力になっていただけるであろうし、それは高齢者のやり甲斐・生き甲斐を生むことにもつながるでしょう。

たとえば、子育てに悩む若いママさんに向けた勉強会で講師をお願いしたり。子どもをあやす遊びを伝授するイベントを開いたり。子どもと一緒に楽しむ、おばあちゃんクッキング教室を開いたり。託児預かり施設の補助員として活躍してもらったり。要するに高齢者が経験的に知っている知恵やワザを、子どもたちに、若い子育て世代に伝える機会を、行政がサポートして提供する。そんな施策があったら、犬山らしい取り組みになるのではないのでしょうか。

P13-14 に一覧化して表現してある総合戦略の方向性ですが、この 2P の中で「高齢者」という文字は 2 カ所しか出てきません。もっと高齢者の力を活用することで犬山らしい戦略とする工夫があってもよいと考えます。